

第30号
年2回発行

草津養護学校ニュース

発行元：滋賀県立草津養護学校 発行責任者：丸本敏久（PTA会長）
連絡先：草津市笠山八丁目3番111号 TEL: (077) 566-0012 (代表)

こんにちは！草津養護学校です。草津養護学校ニュースをご覧頂きありがとうございます。

特集① 作品に取り組む子ども達の様子＆子ども達の作品。

特集② 文化祭のステージの様子／署名のご報告／【知って！ 知って】【聞いて！ 聞いて！】

造形活動や製品作りと、学習成果を展示了。

小学部



様々な素材に触れてその面白さを味わう事、魅力的な道具を使ってのびのびと活動すること、自分なりのイメージを形にしようと試行錯誤する事など、造形活動の過程を大切に、先生や友達と一緒に楽しむ取り組みで、いきいきとした作品が生まれています。



中学部



「ふれる」「えがく」「美術」では、素材の感触を楽しんだり、素材の良さを生かして自分たちの思いを作品に表現。「職業家庭」では、生活に役立つものを、友達と一緒に作ることを目的に、使いやすい工夫やデザインなどを考えて製品を作り上げました。同じ題材でも個性的で違った味が出ています。

高等部



一人ひとりが、自分自身の完成の翼を広げて、作品作りに取り組みました。今まで培ってきた表現の力を發揮して、想いを込めて作り上げています。

みんなの思いは伝わりましたでしょうか。



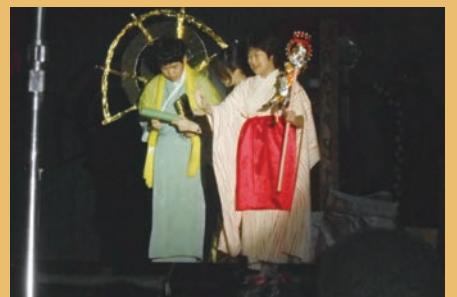


『おむすびこりん』

文化祭

～舞台発表～

10月30日～11月1日の3日間にわたり、学部ごとに舞台での発表をしました。



『草津わらしへ長者～大切なものは～』



『ジャックとまめのき』



『なまつとかものなん・まん・ずー』



『フレンズ～赤鬼の涙～』

聞いて！聞いて！ 保護者のつぶやき



うちの子は、知的障害を伴う広汎性発達障害です。日常生活で見られる症状として「自分の中で決められた順で生活を進める」という特徴があります。例えば、朝起きるとテレビをつけ、ゲームを始めるという行動が一日のスタート。着替えも朝食も後回し。これをされてしまうと学校に間に合わなくなるので、リモコンを隠してするべき事を促したりしてきたのですが、本人は落ち着かずウロウロ家中を探し、結局悪循環となってしまっていました。

そこで考えに考えた結果、ゲームの画面をつけ、音声は消して、着替えとご飯を済ませるという方法で、今は対応しています。

他にも、学校に出発する前、必ず1杯の水かお茶を飲まないと靴を履かないとか、学校生活の中では給食前の時間に体を動かさないと気が済まないなど、本人なりの「こだわり」と「ルール」があるようです。

しかしこのパターンは、何かのきっかけで飽きたと、ある日突然違うパターンを見つけて過ごすので、常にこのような行動と対峙しながら、日々生活をしています。

知って！ 知って！ 障がい知識への第一歩



それぞれの障害の特性

- ・言葉の発達の遅れ
- ・コミュニケーションの障害
- ・対人関係・社会性の障害
- ・パターン化した行動、こだわり

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

知的な遅れを伴うこともあります

注意欠陥多動性障害 AD／HD

- ・不注意
(集中できない)
- ・多動・多弁
(じっとしていられない)
- ・衝動的行動する
(考えるよりも先に動く)

学習障害 LD

「読む」、「書く」、「計算する」などの能力が、全体的に知的発達に比べて極端に苦手

- ・基本的に、言葉の発達の遅れはない
- ・コミュニケーションの障害
- ・対人関係・社会性の障害
- ・パターン化した行動、興味・関心のかたより
- ・不器用(言語発達に比べて)

政府広報オンラインHP参照 <http://www.gov-online.go.jp/featured/201104/contents/rikai.html>

署名のご協力に感謝!!

問題解決の第一歩に心良く署名して下さった皆様
本当にありがとうございました。

- ・8月23日(土) 青山学区夏祭り
- ・11月 9日(日) 草津学区ふれあい広場
- ・11月22日(土) 草津養護学校 秋祭り
- ・12月 7日(日) ほかほかまつり

現在約2,000筆集まっています。
これからも続けて行きますので、ぜひ一筆
でもご協力して頂けたら幸いです。

編 集 後 記

今年も三日間にわたり、文化祭が行われました。舞台発表や子ども達の作品展示、そして模擬店など盛りだくさんでした。舞台発表では、先生方が様々な障がいの子ども達の活躍出来る場を作り、衣装や舞台設営も華やかに準備して下さり、子ども達は練習の成果を出し切りました。自分の持ち得る力を出して演じる姿に感動!!(*^▽^*)

また校内では、子ども達の作品が展示されました。作品に取り組む事が得意な子も苦手な子も一生懸命制作した姿を、皆様に伝えきれない程の見事な作品がたくさんありました。

障がいのある子ども達にとって、地域の皆様の温かい心遣いが、大きな支えになります。そしてその出会いが大きな力となり、子ども達の未来を創る事が出来ると保護者一同信じています。